

NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安 美紀 【発行日】2020. 4. 20(通巻第 17 号)
【HP】<https://asian-kids-care.com/> 【E-mail】kids@asian-kids-care.com 【団体設立】2004. 2. 11 【法人設立】2011. 9. 13
【TEL】090-5912-4515(事務局長:喜安) 【郵便振替】口座番号: 01600-5-13009、口座名義: NPO法人アジアキッズケア
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人 アジアキッズケア

ブータンに支援物資を初めて発送しました。日本人はこの国を「幸せの国」と呼びます。ブータンから結婚・来日して 3 人の母になったレキさんが、「ブータンの貧しい子供たちにも支援物資を送ってください。私は祖国の子供たちを救済したいのです。」とアジアキッズケア事務所を訪れ、一緒に支援を始めることになりました。

「幸せとは何でしょう?」私たちは、生活の中でその実感が少なくなっています。「幸せと感謝は表裏一体」と言われますが、当たり前でない日々の生活への感謝の大切さを感じ、支援国の子供からも教えられています。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が、日本を含め世界中に大きな影響を及ぼしています。一刻も早い終息を願いながら、国や県等の要請や対応指針に則り、皆様の健康や安全・安心を第一に支援を継続してまいります。

2020. 4. 20

NPO法人アジアキッズケア 代表:喜安 美紀

子供たちの未来に笑顔と幸せが訪れますように … ブータンに初めて発送

ブータン・サクテン村出身のレキさんが子供とともに母国紹介。「ブータン人は、貧しさの中でも、家族一緒に生活を大切にしている心優しい民族。子供も家族のために、薪拾い等の手伝いを毎日欠かさない。」と語りました。

幸せの国と言われるけれど、祖国の人々の暮らしは医療・教育・仕事等の厳しい現実、自宅出産のトラブルなどで心が痛み、日本の経済的な豊かさや便利な生活を見ると、「日本人はととても幸せだなあ」と感じるとのこと。



「私たちのできることで、一緒にブータン支援を続けていきましょうね」とアジアキッズケア全員の思いが繋がり、まごころ込めて荷造りしました。レキさんからの「ありがとう」の言葉と笑顔が、私たちの心に温かく響き、清々しい気持ちになりました。世界の子供たちの未来が笑顔と希望に溢れ、幸せと平和が訪れますように。



荷造りボランティアを継続 16 年 … 支援物資は 16 か国に 1067 箱

この 1 年間、アジアやアフリカの子供たちに支援物資(衣類、文房具、楽器、日用品等)を次のように発送しました。

- ・2019. 5 ケニア、モンゴル(5)
- ・2019. 7 フィリピン(大3)
- ・2019. 9 インド(10)
- ・2019. 11 マラウイ、バングラデシュ(6)
- ・2019. 12 フィリピン(大3)
- ・2020. 3 ブータン、マリ(6)

※支援物資の送付実績 1067箱、送料経費総額 6, 637, 171円 (2020. 4 現在)

<支援物資のご提供をお願いします> ※私たちのまごころを添えて、「ハンド to ハンド」で届けます

子供たちに送る支援物資として、夏物衣類(子供から大人用: Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、筆記具、消しゴム、定規等)、楽器(ピアノ等)、通学用バッグ、バスケット・サッカーボール等のご提供をお願いします。※夏物衣類は洗濯して汚れやほころびのない物。現在、金属類・冬物衣類は受入ができません。

アフリカ・マリと日本との友好と篤い絆 … みんなの笑顔が広がりました

サハラ砂漠に位置するマリと日本との友好。衣類や文房具等を手にした子供たちの笑顔が広がりました。日本を愛するコナリー夫妻（右写真中央）によって配布。コナリー氏は日本に5年間留学し、アジアキッズケアの支援活動に加わり、留学中に結婚して2人の子供に恵まれ、現在はマリ大学教授となり砂漠に植林を進めています。帰国後も貧しい子供を救済する願いと絆は変わることなく、国境を越えて友好と友情がずっと継続しています。ウォルト・ディズニー：「与えることは最高の喜びだ。他人に喜びを運ぶ人は、自分自身にも喜びと満足を得る」



アジアキッズケアのチームパス … 日本留学した仲間等とまごころ込めて

日本の子供たちも、夏物衣類・文房具・ピアノカ・ボール等を持ち寄って、まごころ込めて梱包。支援物資を収集して届けてくれた学校も。アジア・アフリカの子供たちの幸せを願いながら、自分のできることでも一歩踏み出します。現地で受け取る子供の笑顔と感謝のメッセージは、私たちも笑顔と幸せな気持ちにしてくれます。



支援物資は、アジアキッズケアのチームパスによって、一緒に汗を流し帰国した留学生等から「ハンドtoハンド」で手渡されます。こうした現地協力者によって、私たちのまごころを添えて支援の必要な人々に届けます。支援国と日本において、令和時代の「Beautiful Harmony（美しい調和）」を生み出す支援の輪が広がっています。現地協力者からは、「子供たちへのサポートは、彼らの人生を劇的に変化させ、夢と希望をもたらしました。」



（バングラデシュの貧困の子供支援）



（インドの孤児院の子供支援）



（インドネシアの被災した子供支援）

<荷造りボランティアに参加してみませんか> ※新型コロナ感染拡大防止のため中止する場合があります。

【実施日時】偶数月の第3日曜日：14時～16時 【実施場所】アジアキッズケア事務所・駐車場あり

小学生から大人まで参加し、留学生による母国紹介の他、楽しい国際交流や国際支援活動の場になっています。

※できれば、支援物資（夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等）をご持参ください。

貧困の子供たちの夢と希望をつなぐ … 教育・生活サポート（毎月3000円）

貧困の子供たちが学校に行くために、教育・生活支援をしてくださる里親支援のサポーターを求めています。彼らの自立を実現することによって、家族、地域も支えることにつながります。私たちが目指しているのは、将来彼らが同じ境遇の子供を支える現地リーダーになって、支援を継続して繋いでいく後継者となることです。

フィリピン、インド、マラウィ、ケニアなどの子供たちに対して、信頼できる現地協力者とともに、彼らの夢と希望を実現し、就労・自立につながるサポート活動を行っています。※申し込みは、団体HPよりお願いします